

1月9日のオンライン防災学習で お話しいただいた

菊池のどかさんから 東日本大震災に関する質問の回答が来ましたので、お伝えします。

①3.11はどんな揺れでしたか？

→横に揺さぶられるような揺れが長く続きました。

②津波の高さは何mでしたか？

→私が見た津波は11mでした。場所は、何回目に来た津波か（第何波か？）によって高さは変化しました。また、釜石で陸上を這い上がった高さの最大は38.87mでした。

③小さい川でも氾濫(はんらん)しますか？

→氾濫することがあります。

④もし近くに山がない場合はどこに避難したらよいですか？

→一番近くの頑丈な高い建物に避難してください。もし、どうしても高い建物がない場合は、海から離れてその中では一番高い場所を目指して逃げ続けてください。

⑤東日本大震災で火災が発生した理由は？

→大きな地震によって、家庭の台所等から出火しました。

しかし地震発生直後に大津波警報が出たため、避難を優先させるため消火活動を行うことができませんでした。その結果、火災が燃え広がりました。

⑥かけてもらってうれしかった言葉は何ですか？

→「生きていてくれてうれしいよ。」という言葉がうれしかったです。

⑦避難所では、どのような飲み物や食べ物が配られましたか？

→各避難所によってバラバラでした。私がいた避難所では、ポリタンクに入った飲料水、ポテトチップス、乾パン、ポテト、サンマのみりん干しなどが配られました。次第に炊き出しのおにぎりやパン、温かいスープが配られるようになりました。

⑧お風呂に入ることができましたか？

→避難所で生活していた人達は、震災発生から約2週間後に入浴ができるようになりました。最初は、自衛隊のお風呂に入り、その後は近隣市町村の銭湯<sup>せんとう</sup>へバスで向かい入浴していました。

⑨避難所でうれしかったことは何ですか？

→お互いに生きて親戚や友達に会うことができた時が一番うれしかったです。

⑩寒さ対策で段ボール以外に使用したものは何ですか？

→新聞紙などの紙とガムテープで体育館に入ってくる隙間風<sup>すきまかぜ</sup>を防ぎました。また、毛布が入っていた袋や、物資<sup>ぶつし</sup>の梱包材<sup>こんぼうざい</sup>、ブルーシートを敷いて床からの寒さをしのぎました。

⑪食料は週に何回届きましたか？

→食料が届く曜日や日にちは決まっていませんでした。最初の頃は、次の物資がいつ配達されるかがわからなかったので、物資を配るペース配分がわかりませんでした。

⑫入学予定だった学校が避難所になった場合は、別の場所に通学するのですか？

→場合によりますが、避難者が体育館に居る状態で校舎に通うスタイルで学校が始まりました。学校自体が被災した場合は、廃校になった別の校舎を利用したり、被災<sup>まぬがれた</sup>を免れた他の学校の校舎を間借り<sup>まがり</sup>する形でスタートしました。